



長野県小諸商業高等学校 閉校式

令和8年3月7日(土)

式次第

- 一 小諸商業高等学校回顧
- 一 開式の辞
- 一 国歌斉唱
- 一 長野県教育委員会式辞
- 一 学校長挨拶
- 一 来賓挨拶
- 一 来賓紹介
- 一 生徒代表挨拶
- 一 校歌斉唱
- 一 校旗返納
- 一 閉式の辞



長野県教育委員会
長野県小諸商業高等学校



授業風景



授業風景

校訓

高潔なる品性を養い
 協調親和を旨とせよ
 心身の鍛錬に努め
 修学に専念せよ
 職能に練達し
 有為なる人材となれ

校歌

見玉 花外 作詞
 岡野 貞一 作曲

- 一、古城の月に照らしみる 小諸高史の輝きは
 代々の栄えを重ねつつ 花とも匂う堅実の
 美徳固むる吾等こそ 尚も光らん意鐵なれ
- 二、浅間烏帽子の意気を負い 力に燃ゆる若人に
 秀づ蓼紳八ヶ岳 いなづま映る千曲川
 道をたわまず進みたる 偉人の跡を教えずや
- 三、雲のとばりの紫に 日本アルプス神の威の
 希望の影を遠くひき 積る文化の雪深く
 星を飾れる駒草が 高き理想に導かん
- 四、地形英気の横たはり 香木天を摩すところ
 高原男児ふく風に 袂拂はせ起つ龍の
 青春の血を躍らせて 清き向上竊みなく
- 五、母校の鉄に勇を鼓し 南北佐久や小県
 健児は増さん国の富 正しき福利わかつ愛
 高海広く乗り出して 覇権を握る日章旗



野球部



定時制

長野県小諸商業高等学校

〒384-0028 長野県小諸市田町三丁目1番1号
 TEL.0267-22-0103 FAX.0267-25-3785



明治40年 義塾在学生



大正13年 校舎全景



昭和2年 手廻し計算器



昭和12年 恵比須講



昭和17年 珠算大会



昭和30年 全国高校駅伝

ご挨拶



長野県教育委員会教育長
武田 育夫

小諸商業高等学校の閉校に寄せて

小諸商業高等学校は、明治39年に小諸義塾学校の廃校後、小諸町立商工学校として設立されて以来、校名変更を重ね、120年にわたり地域の商業教育を支えてきました。昭和30年に現在の校名となり、経済界・産業界で活躍する多くの卒業生を輩出してまいりました。

「高潔なる品性を養い協調親和を旨とせよ 心身の鍛錬に努め修学に専念せよ 職能に練達し有為なる人材となれ」の校訓の下、様々な教育活動において目覚ましい成果や実績を残しております。

小諸商業高等学校は、令和8年4月、小諸高等学校と統合し「小諸義塾高等学校」として、新たな歴史を刻み始めます。全日制に普通科・ビジネス科・音楽科を併設、定時制に商業科を設置し、新たな社会や価値観の創造に主体的に取り組むことのできる生徒の育成を目指しております。

本年度をもって小諸商業高等学校は長い歴史に幕を下ろしますが、その伝統と精神は関係者の心に深く刻まれ、小諸義塾高等学校に受け継がれていくと確信しております。長年にわたりご支援くださった同窓生、在校生、保護者、地域の皆様により感謝申し上げます。閉校に寄せる言葉といたします。



小諸商業高等学校長
坂口 健之

創造の歴史を未来へ紡ぐ

本校の源流は、明治26年に青年有志の願いによって設立された「小諸義塾」に始まります。教育を地域発展の礎とした創設者の志は、町立小諸商工学校へと受け継がれ、幾多の編成を経て昭和30年に現在の小諸商業高等学校が誕生しました。

全日制は東信地区唯一の商業専門高校として、地域産業の発展に寄与し、産業教育の深化と地域との協働を推進しながら、課題解決力を備えた人材育成に努めてまいりました。定時制においても、即戦力となる商業の学びと人間性の涵養を重んじ、時代の要請に応えその役割を担ってまいりました。これらの歩みは、地域の未来を担う人材を育て、新たな価値を創造する確かな力となったと考えております。

令和8年4月、本校は小諸高等学校との統合により「小諸義塾高等学校」として新たな一歩を踏み出します。この統合が地域社会に活力をもたらし、長野県教育のさらなる発展につながるものと確信しております。

長年にわたり温かいご支援を賜りました皆様に深く感謝申し上げます。閉校にあたり御礼の挨拶といたします。



同窓会長
安藤 勝

母校の発展的閉校にあたって

小諸商業高等学校は、私学小諸義塾の精神を継承し、時代の変遷とともに一世紀を超える120年という輝かしい歴史と伝統を積み重ねて参りました。卒業生は二万人を超え、経済界をはじめ、社会の第一線で広く活躍しております。120年前、本校と同じ時期に産声を上げた小諸高等学校と、このたび時を経て統合することは、深いご縁と歴史の必然を感じるところでございます。

新たに誕生する小諸義塾高等学校は、全日制普通科・ビジネス科・音楽科・定時制商業科という、それぞれの専門性が融合する特色校となります。地域に根ざし、多様な個性が重なる学び舎としての未来に大きな期待を寄せております。伝統のタスキを引き継ぐ後輩たちが、この地で新たな歴史を刻むことを願い、心からのエールを贈ります。

地域の皆様、ならびに同窓会の皆様、長きにわたる多大なるご支援に深く感謝申し上げますとともに、小諸義塾高等学校につきましても、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。閉校にあたってのご挨拶といたします。

前史～小諸の中等教育史

私立小諸義塾(明治26年開校/明治34年には女子学習舎創立/明治39年閉校)
小諸町立中学校(明治32年に小諸町議会で議決されたが実現せず)
小諸町立小諸実業補習学校(県下初の勤労青年のための学校として明治33年設立)

- 小諸商工学校
 - 1906(明治39)年 6月 小諸実業補習学校を廃止し小諸町立乙種小諸商工学校として開校、商業部および女子技芸部を設置
商業部 78名(同年に閉校した小諸義塾の建物を商業部が引き継いで使った)
女子技芸部 50名(小諸尋常高等小学校校舎の一部を仮用する)
 - 1909(明治42)年 4月 小諸町立熊野前に新校舎落成、移転(現在の野岸小学校。商業部、技芸部、事務室、体操場の4棟)
 - 1911(明治44)年 4月 北佐久郡に移管し、北佐久郡立小諸商工学校と改称
- 小諸商業学校・小諸商業夜間学校
 - 1919(大正8)年 4月 女子技芸部を廃止し男子商業学校となる
長野県北佐久郡立小諸商業学校に改称
 - 1920(大正9)年 3月 甲種商業学校に昇格、長野県小諸商業学校に改称
 - 1922(大正11)年 4月 長野県立に移管となる
 - 1923(大正12)年 小諸町田町(上野丘)へ新校舎落成移転
 - 1938(昭和13)年 小諸町商工会議所立の小諸商業夜間学校開設
 - 1940(昭和15)年 1月 小諸商業夜間学校を小諸町に移管、町立小諸夜間商業学校を開校
- 小諸商業学校・小諸商業学校第二本科・小諸工業学校
 - 1942(昭和17)年 4月 町立小諸夜間商業学校を長野県に移管し、長野県小諸商業学校第二本科に改称
 - 1944(昭和19)年 長野県小諸工業学校を非常措置により開設(学校工場化、学徒勤労令)
小諸商業学校の生徒募集を停止
終戦により学校工場閉鎖、学徒勤労令廃止
学制改革6・3制へ移行。長野県小諸工業学校併設中学校を開設
 - 1945(昭和20)年
 - 1947(昭和22)年
- 小諸実業高等学校
 - 1948(昭和23)年 4月 学制改革により、長野県小諸実業高等学校となる
全日制および定時制、各商業課程・機械工作課程を併設
 - 1949(昭和24)年 3月 長野県小諸工業学校併設中学校を廃校
 - 1954(昭和29)年 3月 全日制的機械工作課程を廃止
 - 1955(昭和30)年 3月 定時制的機械工作課程を廃止
- 小諸商業高等学校
 - 1955(昭和30)年 4月 長野県小諸商業高等学校と校名を変更
 - 1987(昭和62)年 10月 創立80周年記念・特別教室棟落成
 - 1994(平成6)年 12月 管理・混合教室棟落成
 - 1995(平成7)年 10月 創立90周年記念式典
 - 1999(平成11)年 4月 会計システム科を設置
 - 2000(平成12)年 2月 同窓会館竣工記念式典
 - 2005(平成17)年 10月 創立100周年記念式典
 - 2015(平成27)年 10月 創立110周年記念式典
 - 2025(令和7)年 10月 創立120周年記念式典



小商祭



合唱コンクール



全国優勝



スマイル小商店街



スマイル小商店街